

停電時の操作方法



警告

- 停電などの非常時の操作には高所作業を伴います。高所で暗いところでの作業となることもあり危険がともなうため、基本的には 53 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社へ対応依頼をお願いします（有償）。なお、緊急を要する際など、やむを得ずお客様にて操作される場合には、ヘルメットや安全帯の着用、必要な足場や照明の確保など、墜落・転落事故の予防を行い、安全を十分に確保した上で、操作を行うようお願いいたします。
- 操作をする前にシャッターの電源（コンセントまたはブレーカー）を必ず切ってください。
- シャッターの下に、人や物がいない事を確認してから操作してください。
- 操作が終了するまで、他の人が押しボタンスイッチを操作しないように周知してください。
- 点検口を開けるときは、ショートリンクチェーンなどが落下してくる場合がありますので、ご注意ください。
- 27 ～ 30 ページの手順に従って操作してください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合があります。
- お客様が停電時の操作をする際、少しでも不明な点、不安な点がある場合は 53 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社まで作業をご依頼ください（有償）。
- 操作の前に点検口または開閉機近くに貼ってある手動操作ラベルに書かれた操作方法を必ずご熟読ください。

注 記

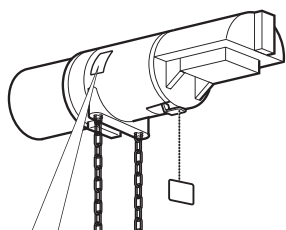
- 開けるときは、所定の高さでとめ、巻き上げすぎないようにしてください。

操作の前に（開閉機の見分け方）

- 操作方法は、開閉機の型式により違います。開閉機添付のラベルで開閉機の型式を確認し、28 ～ 31 ページを参照して、操作してください。
- ローラチェーン、巻取りシャフト、スプロケットに巻き込まれないよう、注意してください。

- 開閉機型式により、外観が異なる場合があります。

EGM シリーズ EGM-18、EGM-25、 EGM-50



型式 **EGM-25**

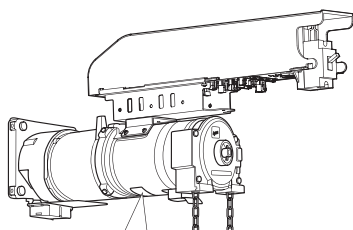
製造番号 0000000

電圧 000V

BX 文化シャッター

開閉機の型式

EGLM シリーズ (AC100V) EGLM-25、EGLM-50



型式 **EGLM-25GT3**

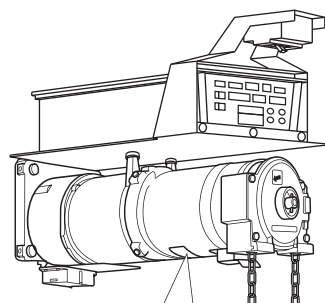
製造番号 0000000

電圧 000V

BX 文化シャッター

開閉機の型式

EGLM シリーズ (AC200V) EGLM-25、EGLM-50



型式 **EGLM-25M**

製造番号 0000000

電圧 000V

BX 文化シャッター

開閉機の型式

型式 **EGLM-25P**

製造番号 0000000

電圧 000V

BX 文化シャッター

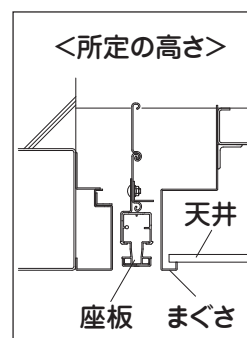
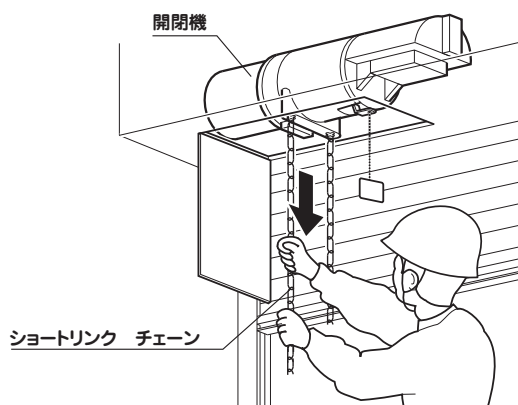
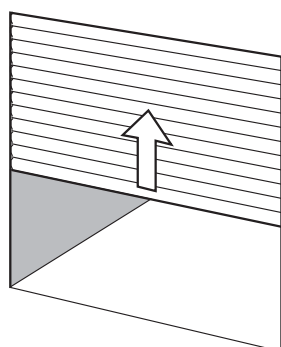
開閉機の型式

EGM 開閉機の操作方法

閉まっているシャッターを開ける

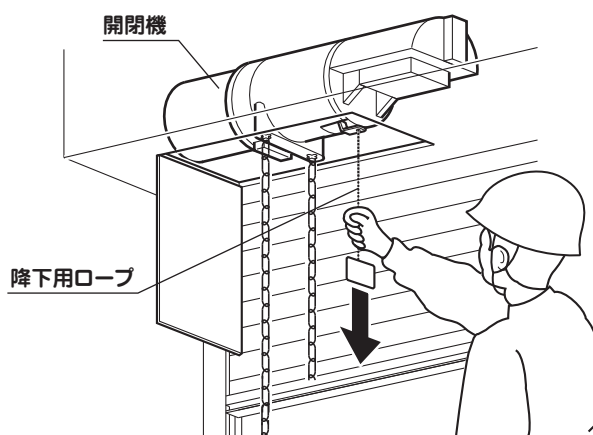
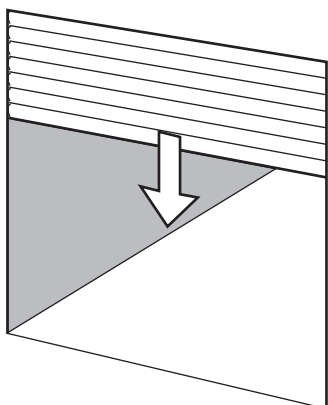
- 1 シャッターが停止していること、電源が切れていること、シャッターのそばに人がいないこと、物がなことを確認し、点検口を開けます。(点検口はシャッターケースの下面または天井面にあります)

- 2 カーテンから遠い方のショートリンクチェーンを引きます。シャッターが開きます。座板が所定の高さ（まぐさ下端）に達したら、巻き上げるのを止めてください。



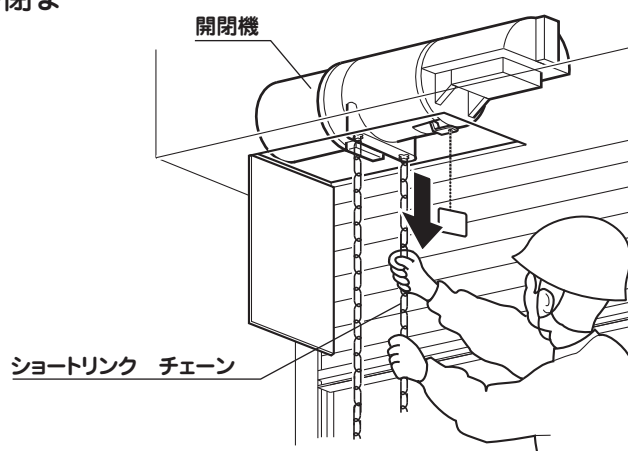
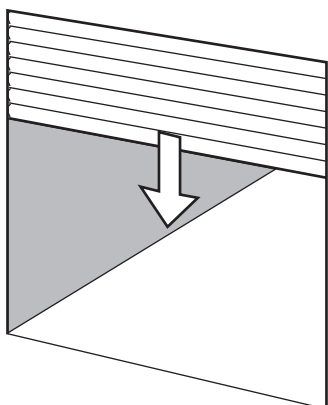
開いているシャッターを閉める

降下用ロープを下方に引きます。
シャッターが閉まります。降下
用ロープを放すとシャッターは
止まります。



● 降下用ロープで閉めにくい場合は、ショートリンクチェーンを使用してください。

カーテン側のショートリンクチェーン
を下方に引きます。シャッターが閉ま
ります。(EGM-18 のみ)

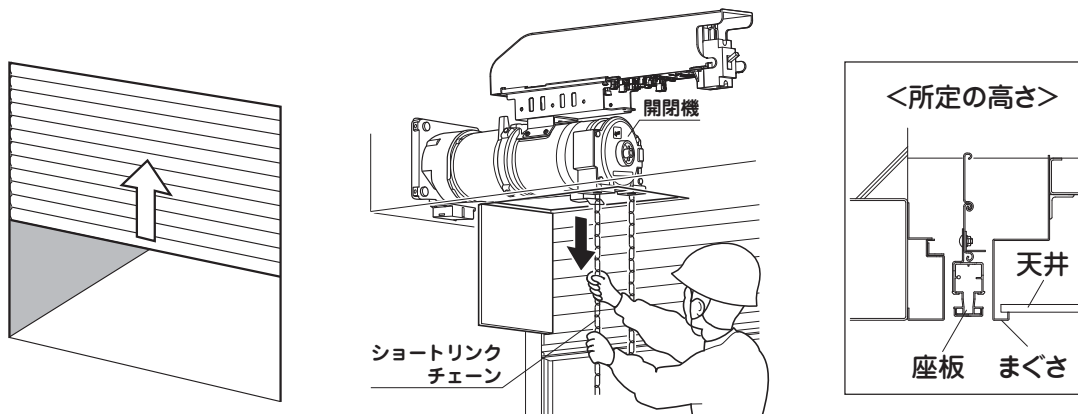


EGLM 開閉機の操作方法

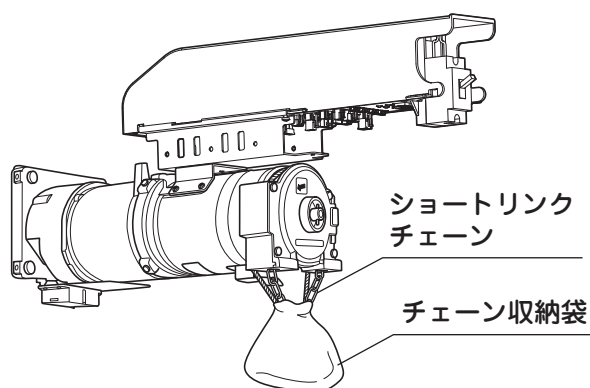
閉まっているシャッターを開ける

1 シャッターが停止していること、電源が切れていること、シャッターのそばに人がいないこと、物がなことを確認し、点検口を開けます。（点検口はシャッターケースの下面または天井面にあります）

2 手前側のショートリンクチェーンを引きます。シャッターが開放します。座板が所定の高さ（まぐさ下端）に達したら、巻き上げるのを止めてください。



3 巻き上げが完了したら、ショートリンクチェーンをチェーン収納袋に収納してください。

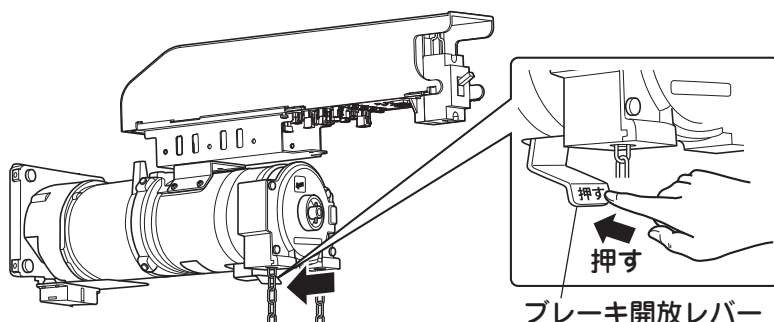


開いているシャッターを閉める

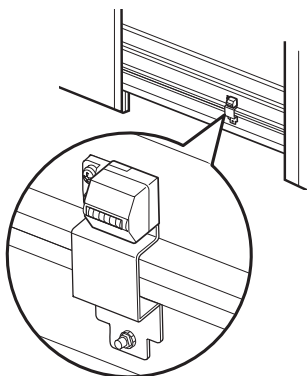
1 シャッターが停止していること、シャッターのそばに人がいないこと、物がな
いことを確認し、点検口を開けます。(点検口はシャッターケースの下面また
は天井面にあります)

2 点検口を開けて、開閉機を確認します。

3 ブレーキ開放レバーを押すと、シャッターが降下します。ブレーキ開放レバ
ーを離すとシャッターは止まります。ブレーキ開放レバーを押してシャッター降
下中は障害物を感知することはできません。



開閉カウンタについて（座板に設置された場合）



● 1 開閉につき、2 カウントします。

※ 施工中の調整や、お客様に引き渡される前の出入り等で、
お客様への引き渡し時にカウンタが 0 ではない場合がご
ざいます。

※ 押しボタンスイッチに内蔵されている開閉カウンタは 1 開閉
につき 1 カウントします。

座板に設置されたカウンタとカウント数が異なります。

9. 修理のご案内

修理のご用命は ATSS へ——

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シャッターサービス株式会社のATSS＝アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

アットタイムサービスシステム



修理に関するお問い合わせは



0120-365-113

365 日いいサービス

